

2019年度 助産師職能委員会研修 院内助産スキルアップ研修

近年の少産・少子化傾向、産科医師不足等により日本では産科医療提供施設が減少し、産科医療の集約化が行われようとしている。そのような中、安心・安全で快適な出産の場の確保は喫緊の課題である。助産師には、すべての妊産婦に寄り添いその経過を見守り、質の高い助産ケアを提供する義務と責任がある。よって産科医療施設の中で助産師が自律して本来の助産ケアを行うためには体制整備が必要である。

日本看護協会助産師職能委員会は平成16年度より助産師外来・院内助産の普及を推進してきた。福岡県看護協会助産師職能委員会においても平成21年から院内助産システム推進研修を実施し、これまで成果を上げてきた。

そこで今年度も、助産実践能力をより強化し、院内助産システムに必要なスキルの習得を目的とし、院内助産スキルアップ研修を企画した。

1. 研修目的

助産実践能力を強化し、助産ケアを自律して実践できる人材を育成・支援する。

2. 研修目標

- (1) 助産実践能力強化のために、新たな知識・技術・態度を再学習することができる。
- (2) 助産専門職を活かし自施設の組織改革に向けて、新たな提案を行うことができる。
- (3) 助産師に求められている役割について考えることができる。
- (4) CLoCMiP®レベルⅢ認証申請のための研修を受講することができる。

3. 研修期間・定員・講師・研修内容

研修期間・定員	研修内容・講師	目標
2019年10月27日(日) 9:40: 開講式・ 9:50: オリエンテーション 時間: 10:00~16:00 定員: 50名	妊娠期のフィジカルアセスメント (120分) 東野産婦人科 主任 武部 美幸	①妊婦の健康診査に必要な知識と技術を再学習することができる。 ②ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる。 ③助産師の役割および医師・関係者との協働について再認識する。
	CTG (180分) 【CLoCMiP®レベルⅢ認証申請のための必須研修】 久留米大学医学部産婦人科学講座 教授 吉里 俊幸	①分娩期の胎児心拍数陣痛図の意義が理解できる。 ②分娩監視装置モニターの基本知識が理解できる。 ③事例をもとに分娩時の対応を検討し、実践に活かすことができる。

<p>2019年11月10日(日)</p> <p>9:50:オリエンテーション</p> <p>時間:10:00~16:10</p> <p>定員:50名</p>	<p>母乳育児支援 (120分)</p> <p>葉っぱ助産院</p> <p>院長 山田 葉子</p>	<p>①母乳育児支援の必要性について再認識する。</p> <p>②入院中の乳房管理目標を理解し、適切な支援方法を習得する。</p> <p>③堤式乳房マッサージ法を用いて自己マッサージの方法を習得する。(妊娠中・入院中)</p>
	<p>産後ケア (90分)</p> <p>産前産後サポートセンター協会</p> <p>心ゆるり</p> <p>代表 豊田 晴子</p>	<p>①事例を通して、産後ケアの実際を知ることができる。</p> <p>②事例を通して、助産師に求められる役割を考えることができる。</p> <p>③包括的な視点を持ち、他職種と連携・協働する方法を知ることができる。</p>
	<p>妊産婦のメンタルヘルス (90分)</p> <p>医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院</p> <p>医師 鈴宮 寛子</p>	<p>①妊産婦メンタルヘルスの重要性と基礎的知識を理解することができる。</p> <p>②妊産婦メンタルヘルスの実際を知り、助産師に求められる役割を考える。</p>
<p>2019年12月1日(日)</p> <p>9:50:オリエンテーション</p> <p>時間:10:00~16:10</p> <p>定員:50名</p>	<p>分娩期のフィジカルアセスメント (120分)</p> <p>濱口産婦人科クリニック</p> <p>師長 浅井 美恵子</p>	<p>①母子の安全を最優先にし、産婦の潜在能力を十分に引き出す分娩のあり方を考える。</p> <p>②分娩期の助産診断技術の再確認ができる。</p> <p>③産婦の主体性を尊重し、産婦の満足が得られる助産技術を学び、自らの病棟の改善に向けて提案できる。</p>
	<p>子宮収縮剤使用時のケア(90分)</p> <p>【CLoCMiP®レベルⅢ認証申請のための必須研修】</p> <p>大牟田市立病院</p> <p>産婦人科医長 河野 亮介</p>	<p>①子宮収縮薬および誘発分娩について基礎的理解ができる。</p> <p>②子宮収縮薬および誘発分娩の管理方法が理解できる。</p>
	<p>産科救急と出血 (90分)</p> <p>【CLoCMiP®をステップアップするための研修】</p> <p>大牟田市立病院</p> <p>産婦人科医長 河野 亮介</p>	<p>①産科出血について基礎的理解ができる。</p> <p>②産科出血時の対応と医療チームとしての連携について理解できる。</p>

<p>2019年12月22日(日)</p> <p>9:50:オリエンテーション</p> <p>時間:10:00~16:00</p> <p>16:00~:閉講式</p> <p>定員:50名</p>	<p>助産記録(90分)</p> <p>【CLoCMiP®レベルⅢ認証申請のための必須研修】</p> <p>助産ケアと倫理(90分)</p> <p>【CLoCMiP®をステップアップするための研修】</p> <p>助産教育(90分)</p> <p>【CLoCMiP®をステップアップするための研修】</p> <p>国際医療福祉大学大学院 助産学分野 教授 佐藤 香代</p>	<p>①適切な助産行為・ケアを提供するための正確な記録のあり方を考え、助産の質を向上させることができる。</p> <p>②助産師としてのアイデンティティを持ち、その専門性・自律性を理解して助産ケアができる。</p> <p>③よいチームワークをめざし、自ら改善に向けた提案・行動・後輩指導ができる。</p>
---	---	--

4. 場所:ナースプラザ福岡

5. 受講資格:看護協会会員および非会員
助産師経験4年目以上

- ※ 応募者多数の場合は、看護協会会員優先
- ※ 他県助産師の参加可能
- ※ 4日間受講された方には、受講証明書を発行します。(16時間以上の受講必須)
- ※ CLoCMiP®研修を受講された方には、研修修了証を発行します。

7. 受講料

- 1) 看護協会会員:14,800円+税(4日間)
- 2) 非会員:37,000円+税(4日間)